

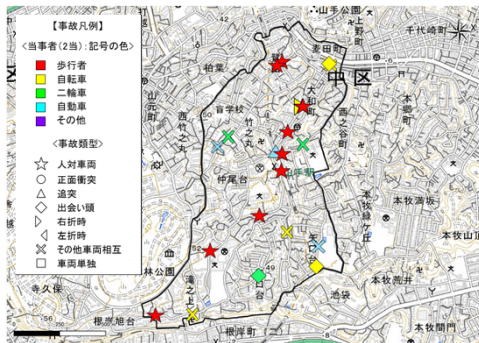
## 潜在的な交通危険箇所の「見える化」

### STEP 01

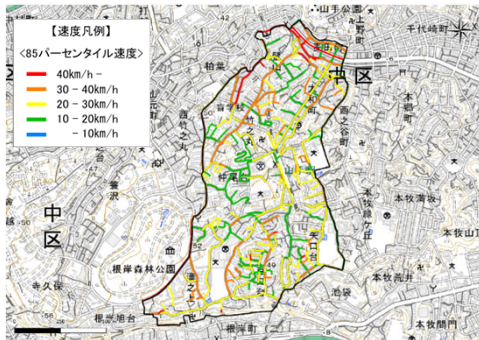
#### データの重ね合わせ

- 交通事故データ、ETC2.0速度データの重ね合わせ

～重ね合わせるデータ～



《交通事故データ》



《ETC2.0速度データ》

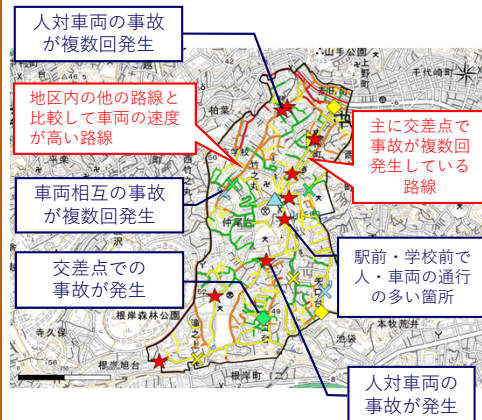
※国土地理院地図を加工して横浜市が作成  
※交通事故データ(神奈川県警察本部提供)を加工して横浜市が作成  
※ETC2.0分析結果(国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所提供)を加工して横浜市が作成

### STEP 02

#### 交通危険箇所の抽出

- 交通事故データとETC2.0速度データを重ね合わせることで、交通危険箇所を抽出

～抽出された交通危険箇所～



《交通事故データ・ETC2.0速度データの重ね図》

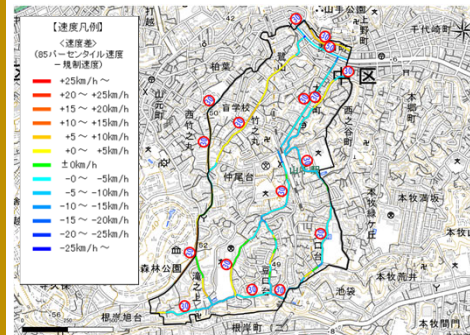
※国土地理院地図を加工して横浜市が作成  
※交通事故データ(神奈川県警察本部提供)を加工して横浜市が作成  
※ETC2.0分析結果(国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所提供)を加工して横浜市が作成

### STEP 03

#### 現地条件の確認

- 抽出された交通危険箇所について、交通規制や現地の地形的条件を確認
- 交通規制データとETC2.0の速度データの重ね合わせにより、規制速度を超過している箇所を確認
- これらの重ね図にさらに通学路を重ね合わせ、重点対策箇所を抽出

～交通規制と速度超過の状況～



《交通規制データ・ETC2.0速度データの重ね図》

※国土地理院地図を加工して横浜市が作成  
※ETC2.0分析結果(国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所提供)を加工して横浜市が作成  
※通学路データについては防犯上の理由から非掲載

### STEP 04

#### 対策案の立案

- 様々なデータを重ね合わせ、現地確認・関係機関協議を行ったうえで、交通安全対策案を立案
- 今後、立案した対策案について地域の方々へ説明し、合意形成を図りながら対策を実施

～データ活用による対策案～



《データを活用した交通安全対策案》

※国土地理院地図を加工して横浜市が作成